

平成 27 年度

南国市の
予算

用語解説

- 一般会計…市の基本的な施策を賄う経費を経理する会計。
- 市債…市の借入金。
- 地方交付税…国が徴収した税金の一定割合を市町村の財政需要に合わせて、配分するお金。
- 国庫・県支出金…特定の事業に対する国や県からの負担金や補助金など。
- 繰入金…市の基金（家計でいう貯金）を取り崩して、一般会計に繰り入れるお金。
- 公債費…市債を返済するためのお金。
- 投資的経費…施設や道路、公園などの建設事業費など。

将来に向けたまちづくりと
健全な財政運営

一般会計 217億9,000万円

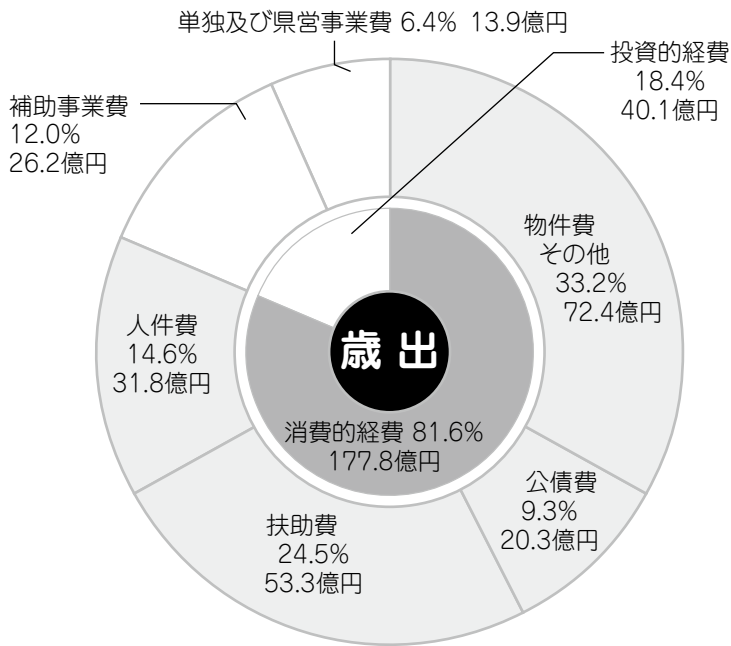
(26年度一般会計 201億4,000万円)

目的別歳入

		★★★☆☆	
		(千円)	(構成比)
自主財源	市税	5,669,896	(26.0%)
	分担金及び負担金	579,911	(2.7%)
	使用料及び手数料	404,946	(1.9%)
	諸収入	348,430	(1.6%)
	その他	470,966	(2.1%)
	小計	7,474,149	(34.3%)
依存財源	地方交付税	4,070,000	(18.7%)
	国庫支出金	4,523,053	(20.8%)
	県支出金	1,985,498	(9.1%)
	債	2,602,900	(11.9%)
	その他	1,134,400	(5.2%)
	小計	14,315,851	(65.7%)
歳入合計		21,790,000	(100.0%)

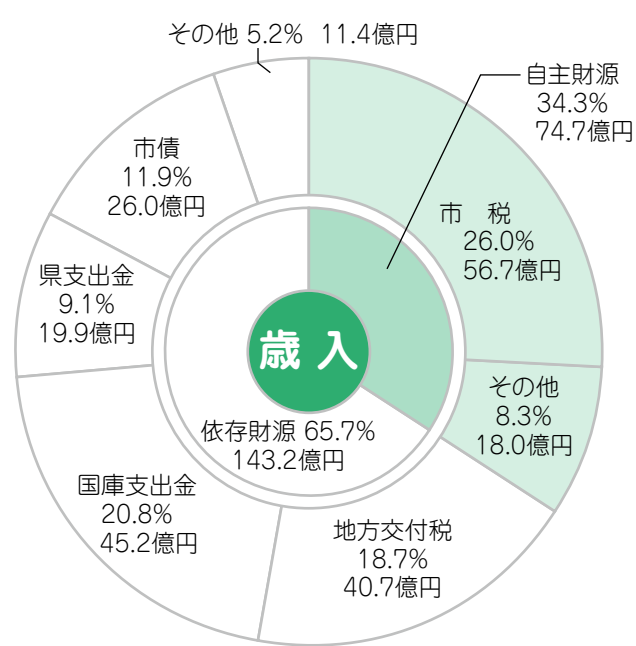
目的別歳出

		(千円)	(構成比)
□ 議 会 費	-----	218,982	(1.0%)
□ 総 務 費	-----	1,808,244	(8.3%)
□ 民 生 費	-----	9,112,064	(41.8%)
□ 衛 生 費	-----	1,355,845	(6.2%)
□ 労 働 費	-----	56,137	(0.3%)
□ 農 林 水 産 業 費	-----	988,362	(4.5%)
□ 商 工 費	-----	224,130	(1.0%)
□ 土 木 費	-----	2,461,800	(11.3%)
□ 消 防 費	-----	1,545,762	(7.1%)
□ 教 育 費	-----	1,976,609	(9.1%)
□ 災 害 復 旧 費	-----	40	(0.0%)
□ 公 債 費	-----	2,032,025	(9.3%)
□ 予 備 費	-----	10,000	(0.1%)
歳 出 合 計		21,790,000	(100.0%)



性質別歳出

区分	予算額(千円)	構成比(%)
人件費	3,178,851	14.6
物件費	2,724,307	12.5
維持補修費	146,404	0.7
扶助費	5,332,467	24.5
補助費等	1,876,267	8.6
公債費	2,032,025	9.3
積立金	127,802	0.6
出資・貸付金	65,170	0.3
繰出金	2,286,957	10.5
前年度繰上充用金	0	0.0
予備費	10,000	0.0
小計(a)	17,780,250	81.6
投資経費(b)	4,009,750	18.4
(1)普通建設事業	4,009,710	18.4
補助	2,624,018	12.0
単独	1,215,807	5.6
県営	169,885	0.8
(2)災害復旧事業	40	0.0
補助	30	0.0
単独	10	0.0
歳出合計(a)+(b)	21,790,000	100.0



性質別歳入

区分	予算額(千円)	構成比(%)
市税	5,669,896	26.0
地方譲与税	199,000	0.9
利子割交付金	12,300	0.1
配当割交付金	17,700	0.1
株式等譲渡所得割交付金	8,500	0.0
地方消費税交付金	847,000	3.9
ゴルフ場利用税交付金	12,400	0.1
自動車取得税交付金	14,500	0.1
地方特例交付金	17,000	0.1
地方交付税	4,070,000	18.7
交通安全対策特別交付金	6,000	0.0
分担金及び負担金	286,251	1.3
使用料及び手数料	698,606	3.2
国庫支出金	4,523,053	20.7
県支出金	1,985,498	9.1
財産収入	33,920	0.2
寄付金	56,179	0.3
繰入金	385,867	1.8
繰越金	10,000	0.0
諸収入	333,430	1.5
市債	2,602,900	11.9
歳入合計	21,790,000	100.0

知

つぎの年度の予算

今年度の南国市の当初予算は217億9千万円で、昨年度より16億5千万円も増えちゅうねえ。

そうでえ。当初予算の規模では過去最高になるがよ。今年度は道路の改良に小・中学校の壁や天井の非構造部材を耐震化する事業もやるき、建設事業費がだいぶ増えちゅうが。

そんなに増やしてもいいが？その財源はあるがえ？

南国市の一番大きな収入は市税収入ながやけど、景気がちよっと回復して市民税が増えきたけど、固定資産税の評価が下がるかと、税率を下けたき60億円を割り込んじゅうが。その次に大きい収入の地方交付税も40億円しか見込めなかったけど、市民のために必要なことをせんといかんき、国の補助事業らあを上手に使うて何とか財源を確保したが。

それやったら、南国市の財政状況は悪うなり

やあせんかえ？

これまで財政健全化計画や中期財政収支ビジョンという収支の見通しを作成して財政運営をしてきたき、財政状況は年々良うなってきたがやけど、津波避難施設らあの防災対策で市債（借金）残高が増えきそうなが。基金（貯金）もちよっとずつ増やしてきたけど、これからも災害などの将来の負担に備えるようにしちよかんといかんがよ。けどね、まだまだやらんといかん事業が多いし、少子化対策も大事なが。高齢化が進んで医療費とかの社会保障費もだんだん増えてきゆうき、新しい財政収支ビジョンを作って事業を計画的に進めんといかん。

子どものことが、お年寄りのこととかぼくも心配や。

それやき安心して生活できるための地震・防災対策、将来に向けた都市基盤整備、企業誘致や農林振興といった産業振興対策、学力向上などの教育対策、子育て支援・少子化対策、市民の健康を守るための健康対策、地球に優しい環境対策といった重点施策を進めていくように予算を組んだがよ。